

取扱説明書

保管用

日立電子安定器 INVERTER

HITACHI

Inspire the Next

メタセラム用電子安定器：AM70EN100/200、AM150EN100/200

この度は日立の電子安定器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用に際し、下記事項をご一読のうえ、正しくご使用ください。

■取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は工事終了後、照明設備を保守管理される方にお渡しください。

安全上の注意

商品及び取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ
商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 警告

- インバータの取付工事は、必ず、電気工事店に依頼してください。
- 取付工事は「インバータの取り付けかた」に従い確実に行ってください。
取付工事に不備があると、火災、感電、落下の原因になります。
- 安定器は、周囲温度が指定温度以上の場所、湿度が85%以上及び水気のはね返る場所、腐食性ガス・可燃性ガス・塩害の生じる場所、振動・衝撃の激しい場所、粉塵の多い場所などでは使用しないでください。間違えて使用すると感電、火災の原因となります。
- インバータの構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。感電、火災、落下の原因となります。
- 電線の絶縁体に刃物等による傷を付けないようにしてください。絶縁破壊による漏電、感電、火災の原因となります。
- 安定器のランプ側に器具を接続しないままで放置しないでください。
確実な絶縁処理をせず未結線のままで電源を入れますと、電線が焼損し火災の原因となります。
- 管灯回路内に中間ジョイントとしてコンセント等の接続器を使用しないでください。絶縁破壊により火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)、周波数以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ランプ・安定器の取り付け、取りはずしの時は、必ず電源を切ってから行ってください。安定器の二次側には、高電圧パルスが発生しますので、活線作業をしないでください。電撃による感電、墜落等の原因となります。

⚠ 注意

- 布や紙、断熱材を安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。温度が高くなり、保護機能の動作、火災の原因となります。
- リード線を持って運搬するのはやめてください。不点灯、絶縁不良などの原因となります。
- 絶縁抵抗試験は必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し不点灯の原因となります。
- 周囲温度は、0～45℃の範囲でご使用ください。
周囲温度が高い場合には安定器が短寿命になったり、内蔵の保護機能が動作したりします。
- 安定器を2台以上並べて設置する場合、10cm以上間隔をあけて通風に注意してください。
また、狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、インバータが過熱しないようにしてください。
インバータが短寿命になる恐れがあります。
- インバータに交換の際は、既存器具のソケット、端子台、リード線などの電気部品が劣化している場合がありますので、必要に応じて交換してください。
- ランプ交換の際には、本体表示および取扱説明書に従って指定されたランプを使用してください。
指定以外のランプを使用すると、火災、不点灯、絶縁不良、ならびにランプの破損、短寿命、安定器の短寿命の原因となります。
- 電源を切ってランプを交換してください。電源を入れたままランプ交換をしますと保護回路動作により電源が遮断状態となり、ランプが点灯しない場合があります。その場合は電源を入れ直してください。
- 三相四線、単相三線式の配線下で使用する場合は、負荷のバランスをとり、ブレーカは中性線が多層線路より後に遮断される仕様のもをご使用ください。
- 電子安定器の場合、旧タイプの漏電ブレーカではトリップする場合があります。
この場合は高周波対応形漏電ブレーカをご使用ください。また、従来の銅鉄形安定器よりも漏洩電流が多くなるため、高周波対応形漏電ブレーカや漏電警報機においても、多数の電子安定器を接続しますと、不要作動する場合があります。
ご使用する場合には、感度電流の設定値にご注意ください。
- 冬季など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電、感電の原因となります。
湿気対策として定期的に通電してください。
- 安全に使用するため、3～5年に一回は工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら、交換してください。寿命末期（一般に寿命の目安は約10年）には異常発熱、発煙、発火の原因となります。

ご使用上の注意

- 電波の弱い場所（山間、鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどをご使用するのはお避けください。リモコンが動作しないことがあります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクの使用は、お避けください。雑音が入り正常に動作しないことがあります。
- ランプが不点の場合、約20分で高圧パルスは自動的に停止します。
パルス停止機能が働いた場合は、一旦電源を切ってから再投入しますと、再び約20分間パルスがランプに印加されます。
- 落雷等による瞬時停電の場合は、パルス停止機能が働いたまま、復帰しないことがあります。
その場合、電源を一旦切ってから電源を再投入してください。

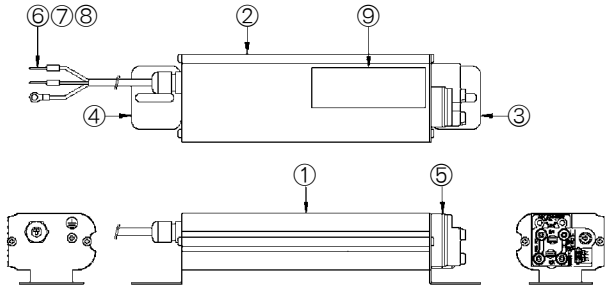
インバータの取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化しております。

1. 製品概要

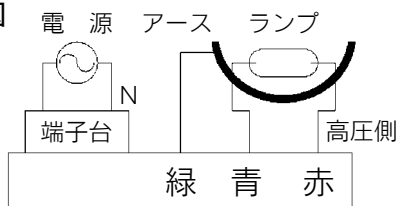
安定器の種類	型 番	適合ランプ	仕 様	電圧変動範囲	使用温度範囲	管灯回路配線長
メタセラム セラルクス 70W用	AM70EN100/200	メタセラム 70W セラルクス 70W	100/200V共用 50/60Hz共用	定格値±6% 94V ~ 106V 188V ~ 212V	- 5℃~45℃	2 mまで
メタセラム セラルクス 150W用	AM150EN100/200	メタセラム 150W セラルクス 150W				

2. 各部の名称



- ①ケース（ボディ） ②ケース（放熱面）
- ③側面板、取付脚（電源側）
- ④側面板、取付脚（ランプ側）
- ⑤アース付端子台（電源側）
- ⑥⑦⑧出力線（赤・青）、アース線（緑黄）
- ⑨製品銘板

4. 結線図



3. 安定器の取付

水平取付	横向取付	垂直取付
使用可	使用可	使用可

- 上図に示すように、安定器は垂直又は水平でお使いください。
- 取付前に安定器の重量に耐えるよう、取付部の強度を確認してください。
- ランプと安定器間の管灯回路配線長は、パルスの減衰を考慮し、“製品概要”の表の値以内としてください。
この長さを超えますとランプが始動しないことがあります。
- 配線材は、600Vビニル電線と同等以上の絶縁性能を持つφ1.6またはφ2.0mmの軟銅単線の電線を使用してください。
- 左の結線図のように結線をお願いします。間違えますと、不点灯もしくは安定器の故障が発生します。

故 障 診 断

現 象	原 因	対 処 方 法
不点灯 ・ ランプの 寿命が短い	ランプとランプソケットの接続は完全ですか	ランプを入れ直してください。接触片が変形している場合はソケットを交換してください。
	調光器が接続されていませんか	インバータは調光出来ません。調光器を外してください。
	インバータの結線は、确实に行われていますか	結線を確認してください。端子台にしっかりと接続されていることを確認してください。ランプ線の長さが片道2m以下であることを確認してください。
	絶縁不良	電線の被覆が傷ついていないか確認してください。
	電源電圧が低いのですか	電源電圧は、±6%の範囲でご使用ください。
	保護回路が働いている	電源を入れ直してください。
	使用ランプを間違えていませんか	本体に表示された適合ランプをご使用ください。

特にご注意を

- 本安定器は、屋内専用です。屋外では使用できません。
- 必ずアースを取り付けてください。
- アースは法律によりD種接地工事が必要です。
- 調光は出来ません。
- 密接して設置された建築化照明など照明器具の温度が特に高い場所（35℃以上）では使用できません。
- 本安定器は、メタセラム（セラルクス）ランプと組み合わせてご使用ください。
- 安定器交換に際しては、十分な事前調査、適合安定器の選択、他の関連部品の点検・交換及び適正な交換工事が必要です。
- 安定器交換された既存器具のソケット、端子台、リード線などの不具合については、交換されたお客様側で対処をお願いすることになります。

アフターサービス…ご使用中異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店（販売店）にて、不具合状況を確認してもらい
 代品と交換してください。交換後は安定器を調査するため返却をお願いします。
 なお、返却する際、安定器の形式およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。